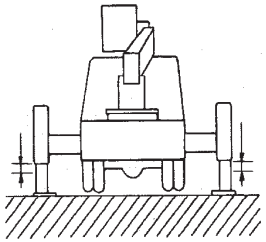
適用範囲		モデル名			SV05CNS	SV06CNS	SV06CNL	SV08CNL	SV08CWL	SV10CWL							
		適用号機			STD	STD	STD	STD	STD	STD							
区分	検査箇所	適用項目 ※測定条件、方法		単位	検査基準値				検査基準値								
電動機	駆動用ベルト	駆動用チェーンのたわみ		mm	—	—	—	—	—	—							
	バッテリー	電圧		V	24	24	24	24	24	24							
	充電装置	電圧検出リレーの作動電圧		V	28.8	28.8	28.8	28.8	28.8	28.8							
	ヒューズ	走行・上昇主回路用		A	200	200	200	200	200	200							
		制御主回路用		A	10	10	10	10	10	10							
	ブレーカ	主回路用ブレーカ		A	—	—	—	—	—	—							
	ホイール	ニューマチックタイヤ	空気圧	MPa (kg/cm²)	— —	— —	— —	— —	— —	— —							
		ソリッドタイヤ	摩耗量	—	状態により判断	状態により判断	状態により判断	状態により判断	状態により判断	状態により判断							
	走行ブレーキ	制動距離		m	—	—	—	—	—	—							
	駐車ブレーキ	ドラムとライニングのすき間		mm	—	—	—	—	—	—							
		最低停止保持勾配		°	14	14	14	14	14	14							
作業装置	マスト	スライディングパッド部がた	マスト上側	mm	—	—	—	—	—	—							
			マスト下側	mm	—	—	—	—	—	—							
		スライディングパッド	摩耗量	mm	—	—	—	—	—	—							
油圧装置	油圧ポンプ	昇降	吐出圧	MPa (kgf/cm²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)							
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22							
			油温	℃	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10							
		操舵	吐出圧	MPa (kgf/cm²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)							
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22							
			油温	℃	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10							
		メイン	吐出圧	MPa (kgf/cm²)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)	18.1 (185)							
			※作動油	—	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22	VG22							
			油温	℃	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10	40±10							
	油圧シリンダー	自然降下量	リフトシリンダー	mm/10min	2	2	2	2	2	2							
安全装置	車体傾斜角警報装置	作動角度	前後方向	°	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5							
			左右方向	°	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5	2±0.5							
	過積載防止装置	作動重量		N (kgf)	3138 (320)	2647 (270)	4216 (430)	2942 (300)	5295 (540)	5295 (540)							
	作業床規制装置	格納検知		—	○	○	○	○	○	○							
		走行規制検知		—	—	—	—	—	—	—							
		上限規制検知		—	○	○	○	○	○	○							
総合テスト	作動速度	昇降	上昇	s	20±4	30±6	30±6	40±8	50±10	50±10							
			下降	s	20±4	30±6	30±6	40±8	40±8	40±8							
		走行	高速	km/h	4.5±0.7	4.5±0.7	4.5±0.7	4.5±0.7	3.6±0.5	3.6±0.5							
			低速	km/h	0.8±0.1	0.8±0.1	1.0±0.2	1.0±0.2	0.8±0.1	0.8±0.1							

※１．シリンダー自然降下量

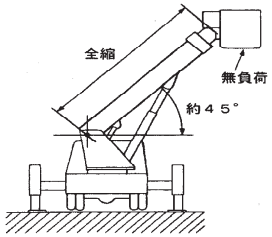
１．ジャッキシリンダー
［測定要領］
１）車体を水平堅度土上にセットする。
２）エンジン停止させる
３）ジャッキレバーを「入」に数回操作し、残圧を抜く
４）ジャッキポストにマーキングまたは、ダイヤルゲージをセットする
５）1分後、0点を合わせる
６）10分経過させる
７）自然降下量を測定する
（前右、前左、後右、後左）

［判定基準］
ジャッキポストのストロークにて
1㎜以内／10分



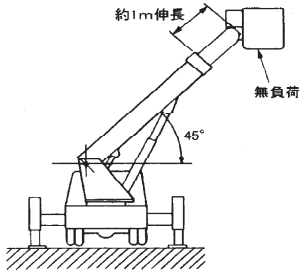
２．起伏シリンダー
［測定要領］
１）ブームを起伏各45°にセットする
２）エンジン停止させる
３）起伏シリンダーのロッドにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする
４）残圧を抜き1分後または5分後、0点を合わせる
５）10分経過させる
６）自然降下量を測定する

［判定基準］
ピストンロッドのストロークにて
2㎜以内／10分



３．伸縮シリンダー
［測定要領］
１）ブームを起伏各45°にセットする
２）ブーム長さを1mにセットする
３）エンジン停止させる
４）第2ブームにマーキングまたはダイヤルゲージをセットする
４）残圧を抜き1分後または5分後、0点を合わせる
５）10分経過させる
６）自然降下量を測定する

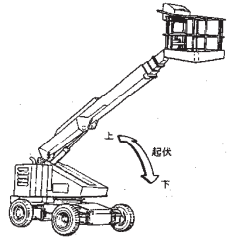
［判定基準］
第2ブームのストロークにて
2㎜以内／10分



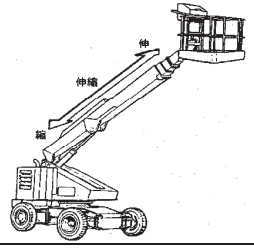
※２．速度測定方法

［測定要領］
１）車体を水平堅度土上にセットする。
２）作業車の作業範囲に障害物が無いことを確認する
３）油温は40±10℃で行なう

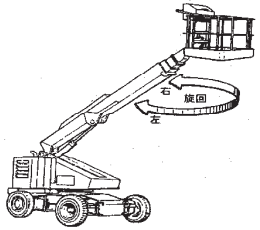
１．ブーム起伏速度
１）ブーム全縮状態で、起伏下操作により「下」エンド下げる
２）起伏上操作にて「上」エンドまでの時間を測定する
７）自然降下量を測定する
（前右、前左、後右、後左）



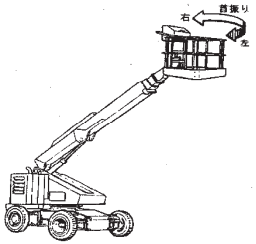
２．ブーム伸縮速度
１）ブームを全縮状態で起伏上操作により「上」エンドまで上げる
２）伸操作により「伸」エンドまでの時間を測定する
３）縮操作により「縮」エンドまでの時間を測定する



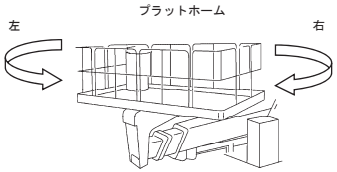
３．ブーム旋回速度
１）ブームを全縮、起エンドの状態でにする
２）ブーム旋回操作により1回転するまでの時間を測定する
３）ブーム右旋回、左旋回共に行なう



４．首振り速度
１）首振操作にて右エンド～左エンドまでの作動時間を測定する
２）首振り右操作、左操作共に行なう

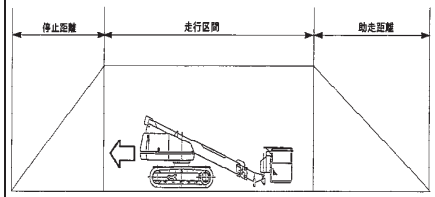


５．プラットフォーム旋回速度
１）ブームを全縮、起エンドの状態でにする
２）ブーム旋回操作により1回転するまでの時間を測定する
３）ブーム右旋回、左旋回共に行なう



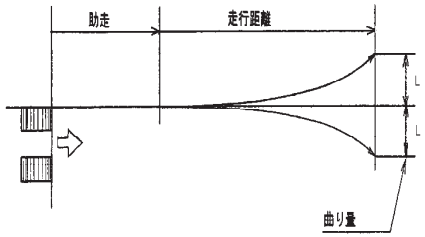
※３．走行速度測定方法

［測定要領］
１）車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
２）走行操作レバーをいっぱいまで操作する
３）車両が最大速度になるまで助走させる
４）速度が安定した走行区間の速度を測定する
※ブームの姿勢や切り替えスイッチを切り替え「高速」、「低速」を



※４．走行直進性測定方法

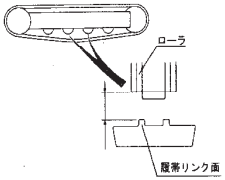
［測定要領］
１）車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
２）走行操作レバーをいっぱいまで操作する
３）車両が最大速度になるまで助走させる
４）最高速度で約 10m 走行させ曲がった距離を測定する



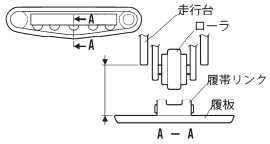
※５．履帯たわみ測定方法

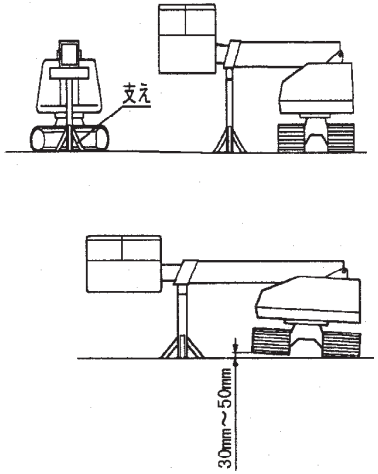
［測定要領］
１）車両を水平なアスファルト、コンクリートまたは堅土上にセットする
２）第１ブーム先端部に支柱セットする
３）ブーム「伏」操作を行い履帯を地面から 30mm～50mm 浮かせたわみ量の測定をする

１．SR10A、SR12B
SR18/21A スペック（AQ*、AQ***）



２．SR18/21A スペック（*S***）

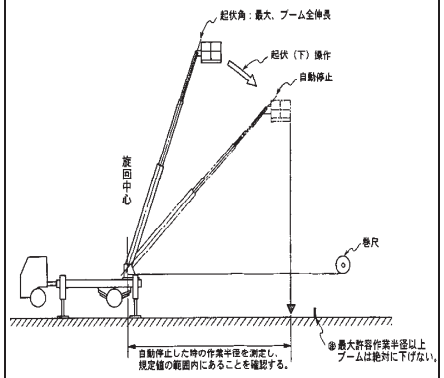
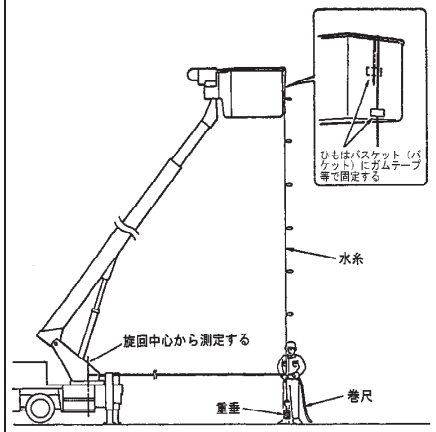




※６．作業半径測定方法

［検査機器］
１．角度計
２．巻尺
３．重垂
４．水糸

※測定値や測定方法はモデルによって異なります
また同じ機種でも張り幅やウエイトの重量によっても異なります

［測定例　L-MAX］
※測定は L-MAX（ブーム全伸長）の他に L-MIN（起伏角水平）があります。
詳細はサービスマニュアルを参照してください

１）車両を水平堅土上にセットする
２）ジャッキにより全タイヤを地切りさせる
３）車体は前後左右水平にセットする
（張り幅よって測定値、測定方法が異なります）
４）バケットにウエイトを積載する
（機種、仕様により異なっているので各機種のデータを参照のこと）
５）ブームの操作は下操作で行なう
６）ブーム操作は低速にて行なう
７）ブームが自動停止した作業半径を測定する
８）規定の作業半径（最大許容作業半径）に達しても、ブームの作動が停止しない場合は操作をやめ、作業半径が大きくなる側への操作は絶対に行なわないこと
９）測定後ブームを操作する際は、ブームを全縮にした後、旋回操作を行なうこと